



鈴木貴晶 (自由クラブ)

学校体育施設開放について

問 開放種目の決め方は、また、施設に余裕がある場合、種目を見直し、拡大する考えについて伺う。

答 毎年、教育委員会から各学校へ照会し、その回答に基づき決定している。実施可能種目は多い方が望ましいため、次回の種目の更新の際は、種目数を増やせるよう学校と調整していきたい。

問 学校毎に開放回数の上限があるが、ニーズに合った柔軟な対応は可能か。

答 市民体育館の工事中は開放の利用増が想定されるため、予算を考慮した上で回数制限の緩和等を検討している。

問 ソフィア看護専門学校体育館の開放のさらなる周知と、現在開放されていない蒲郡東高校、大学、民間施設(太陽の家)の開放について伺う。

答 ソフィア看護専門学校は、施設開放のパンフレットに紹介欄を設けて周知を図り、高校については学校側に相談をしていく。大学や民間施設は、実現可能性も含め一度確認していきたい。

鎌田篤司 (市政クラブ)

稲葉市政8年間の成果について

問 稲葉市長が尽力された市民の健康づくりへの取り組みについて伺う。

答 健康化政策全庁的推進プロジェクトを設置し、



9月定例会の冒頭であいさつをする稲葉市長

様々な健康づくり事業を行った。その中でも「体重測定100日チャレンジ! めざせ1万人!」は、地域や企業、学校等と連携して実施でき、大変有意義だった。

問 市民病院は、常勤医の減少により存続さえ危惧された時期もあったが、名古屋市立大学と寄附講座を締結し、着実に再建の道を歩んでいる。寄附講座の内容と効果を改めて伺う。

答 この寄附講座は、地域の医療課題の研究や手術支援ロボット「ダヴィンチ」による前立腺がんの手

術に代表される高度医療の実施、人材育成などを目的とした包括的な連携である。医師数や病床稼働率、手術件数が増加し、多方面で効果を生んでいる。

問 白斑の再生医療について伺う。

答 具体的な再生医療の提供には至っていないが、適用患者がいればいつでも実施できる状況である。

大場康議 (自民党市議員)

企業用地拡充に向けて

問 浜町仮設ソフトボール場の売却に向けてのスケジュールについて伺う。

答 現時点では、売却時期は未定だが、必要な工事を進めていく。今年度は、隣接する浜町グラウンドを3面から4面にする工事を行い、利用の集約を図っていく。また、全天候型ゲートボール場の骨組みを撤去し、ゲートボール場を再整備する。来年度は、浜町仮設ソフトボール場の撤去工事を行いたいと考えている。

農業の振興を

問 新規就農者への国からの支援施策である農業次世代人材投資事業の採択条件が厳しくなったのか。

答 この事業は、1人当たり年間最大150万円が最長5年間交付される新規就農者に有利なものだが、今年度からは、実効性のある人・農地プランの作成が前提とされ、前年度の世帯全体の所得が600万円以下であることなど採択条件がやや厳しくなったと感じている。

